

# 車いすの基本操作

急に怪我をしてしまったときなどのために、保健室では貸出用車いすを常備しています。保健室前に置いてありますので御自由にお使いください。

## 保健室だより

平成30年11月発行  
京都市立芸術大学  
保健室

### 各部の名称



### 車いすの広げ方



- ①車いすを閉じた状態
- ②車いすを広げられるところまで広げる。
- ③車いすの正面に立ち、座面の両脇に手を置き、ゆっくり押し広げる。
- ④車いすが動かないようにブレーキをかける。
- ⑤最後にフットレストを下ろす。

### 車いすのたたみ方



- ①フットレスを上げる。
- ②車いすの横に立って、座面の真ん中をつかみ、持ち上げる。
- ③完全に閉じるまで引き上げる。

## 車いすの押し方



車いすの後ろに立ち、両手でハンドグリップをしっかり握ります。ブレーキをゆるめ前後左右に注意してゆっくりと押していきます。

## ブレーキの掛け方・ゆるめ方

車いすの横に立ち、車いすが勝手に動き出さないように、片手はハンドグリップを握り、他方の手でブレーキを完全に掛けます。反対の側も同じようにして掛けます。(ブレーキをゆるめる時も同じようにします。)



## キャストターの上げ方

①ハンドグリップを握り、ティッピングレバーに足を掛けます。

②ティッピングレバーを踏み込むと同時にハンドグリップを下に押し下げます。

③キャストターが上がったら、グリップをしっかり握り、ティッピングレバーから足を下ろし、ひざと腰でバランスを取ります。



## 段差の「上がり方」



①段差のすぐ手前でキャストを上げます。



②キャストを上げたまま前進し段の上にキャストをそっと下ろします。



③さらに前進し、後輪が段差にぶつかったところで、ハンドグリップを持ち上げるようにしながら、段の上に静かに乗り上げます。

## 段差の「降り方」

基本的な降り方は、上がり方の手順の逆で行います。

①車いすは段差に対して背中を向け、後輪からゆっくりと降ろします。

②キャストを上げ、そのまま後ろに下がります。

③フットレストや乗っている人のつま先が段差に当たらないように注意し、キャストを地面に降ろします。

## 階段の「上がり方」



①車いすは階段の正面を向きます。介助者は4人(又は3人)で、車いすを持ち上げます。基本的には、ハンドグリップと車いす本体のパイプを持ちます。



②車いすの前側はここを持つと安定します。



③各介助者はそれぞれの場所をしっかりと持ちます。車いすを持ち上げ、一步一步ゆっくり進みます。

\*この時、車いすが左右や後ろに傾き過ぎないように注意します。

## 階段の降り方



車いすは降りる方向に向かって背中を向けます。これは車いすの利用者が転げ落ちないようにするためです。車いすの持ち方は「階段の上がり方」と同じ要領です。